

# グリーン認証の取得効果

## 燃費向上、トラック約5%

エコモ財団

## 事故防止、故障減少にも寄与

交通エコロジ・モビリティ財団(エコモ財団)は10日、11年度版「グリーン経営認証取得による効果」を発表した。認証取得から2年後の平均燃費はトラックが車両総重量8ト以上で4.8%、同8ト未満で4.9%、バスは2.9%、タクシーは1.5%それぞれ向上していた。加えて、アンケートでは認証取得後1年目でトラックの事故が前年に比べて24.4%減少するなど、各モードでグリーン経営による事故防止効果が確認された。

グリーン経営認証制度は、トラックは2003年(平成15年)10月から、バスとタクシーは04年4月から開始するなど、運輸関係7業種をカバーしている。

「認証取得効果」は認証登録から1年後の定期審査と2年後の更新審査の際に提出してもらったデータを集計・分析した。認証前後の2年間の平均燃費は車両総重量8ト未満のトラックは0.15km/l(4.8%)、同8ト未満のトラックは0.28km/l(4.9%)、バスは0.1km/l(2.9%)、タクシーは0.08km/l(1.5%)それぞれ改善した。タクシーの改善率が低かった理由について、エコモ財団は利用客減に伴う待ち時間のアイドリング時間の増加や、長距離客の減少などを挙げている。

認証取得後7年間のデータを見ると、車両総重量8ト以上のトラックは取得前に比べ21.5%、同8ト未満トラックは15.5%の燃費向上を示すなど、認証取得年度が古い事業者ほど改善率が高かった。

トラックの認証取得事業者の平均燃費は全車種区分(1ト未満から12ト以上の8区分)で全国平均よりも高く、全車種区分の加重平均の燃費は全国平均に比べ29.7%も良かった。

全認証取得事業者が同様の燃費改善効果を上げていると仮定すると、グリーン認証による年間のCO<sub>2</sub>削減量はトラック33万4千ト、バス3万9千ト、タクシー2万1千トとなり、削減量の合計は39万4千トと推計された。

一方、認証事業者へのアンケートによると、グリーン認証取得のメリット(複数回答)は「燃費の向上」84.1%、「職場モラル向上」

76.6%。バスは「燃費の向上」76.7%、「職場モラルの向上」70.5%とほぼ同じ傾向だった。タクシーは「職場モラルの向上」83.7%、「燃費の向上」76.1%と順位が逆転している。

認証取得後1年目に交通事故件数(走行距離10万km当たり)はトラック24.4%減、バス14.1%減、タクシー10.5%減と、3業種とも大きく減少していた。車両故障件数もトラック20.8%

減、バス5.0%減、タクシー11.9%減と修理費の節約にも貢献している。